

## 新規就農者の動向について

令和元年10月2日作成

宮城県農政部農業振興課

### 1 平成30年度の新規就農者数 158名 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

### 2 新規就農者の推移

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
人数	80	97	102	113	172	179	170	173	183	171	158

※調査対象年齢：15歳以上65歳未満

※定年帰農者は調査対象外

### 3 就農形態別

	男性	女性	10代	20代	30代	40代	50代～	合計
自営就農者	40	10	1	21	19	7	2	50
雇用就農者	61	23	7	39	25	10	3	84
新規参入者	20	4	0	6	9	7	2	24
合計	121	37	8	66	53	24	7	158

※自営就農者：農家出身者で、自家農業（一戸一法人も含む）に就農した者。

雇用就農者：農業法人等で雇用されて就農した者（パート、アルバイト等の非正規雇用は除く。農家出身、非農家出身を問わない）。

新規参入者：非農家出身で農地の取得等により新たに農業経営を開始した者や、農家出身者であっても、親等の経営基盤によらず、自ら農地や施設の取得等を行い新たな農業経営を開始した者。

### 4 新規就農者の動向

- (1) 平成30年度の県全体の新規就農者数は158人（前年差－13人）であり、前年より減少したものの、県の新規就農者の確保目標（年間130人）を上回る水準を維持している。
- (2) 年代別では、10歳代～20歳代は74人（前年差－6人）、30歳代は53人（前年差＋1人）、40歳代は24人（前年差－6人）、50歳代は7人（前年差－2人）となった。
- (3) 就農形態別では、雇用就農者は84人（前年差－14人）と前年度より減少したものの、全体の約53%を占めている。自営就農者は50人（前年差＋17人）と前年度より増加した。新規参入者は24人（前年差－16人）と前年度と比較して減少した。

## 5 農業改良普及センター別

普及センター	自営就農	雇用就農	新規参入	合計	(参考) H29合計
大河原	9	15	3	27	30
亘理	4	12	6	22	34
仙台	0	14	0	14	22
大崎	8	3	4	15	11
美里	1	4	0	5	13
栗原	6	5	2	13	9
登米	16	14	4	34	20
石巻	6	13	3	22	30
気仙沼	0	4	2	6	2
合計	50	84	24	158	171

## 6 営農部門別

営農累計	自営就農	雇用就農	新規参入	合計	(参考) H29合計
水稻	13	25	2	40	50
野菜	9	36	17	62	68
花き	5	0	0	5	8
果樹	7	2	2	11	1
肉牛	11	8	3	22	23
酪農	3	3	0	6	13
養豚	0	5	0	5	3
菌茸	0	3	0	3	3
その他	2	2	0	4	2
合計	50	84	24	158	171

※ 複数経営の場合には、そのうちで主な部門としている。また、雇用就農者の場合には、雇用先の主な部門または雇用就農者が従事している部門としている。